

(1)現基本計画の施策の主要成果
 (「板橋区基本計画の達成状況と課題」 P7～8、P25～26参照)

個別目標Ⅲ-2 災害に強く住み続けられるまち
■施策の方向_被害を最小限に抑える都市の創造
 □施策_建築物の耐震性の向上と不燃化促進
 ○公共施設の耐震性の向上を大幅に前倒して実施
 【学校】校舎97.4%、体育館98.7% 【その他】98.5%
 ○木造住宅耐震化推進事業
 耐震診断514件、耐震補強112件、除却29件、建替10件
 ○非木造建築物耐震化促進事業
 耐震診断46件、改修設計13件、耐震改修15件、
 特定緊急耐震診断84件
 ○都市防災不燃化の促進・・・不燃化促進区域指定3地区52棟
 ○木密地域不燃化10年プロジェクトの推進
 特区指定2地区(大谷ロー丁目周辺地区、大山駅周辺西地区)
 ○学校施設の不燃化促進
 点検=延87校、設計=延26校(平成26年度予定)

■施策の方向_良好な市街地の形成
 □施策_密集市街地の整備促進
 ○木造住宅密集地域の整備促進5地区
 □施策_再開発事業の推進
 ○まちづくり事業の推進(上板橋駅南口駅前地区)
 □施策_市街地整備の促進
 ○高島平地域ランドデザイン策定に着手(図表4)
 ○市街地整備計画の策定(板橋・下板橋・大山駅周辺地区)
 【大山地区】まちづくりマスタープラン、行政計画策定(図表5)
 【板橋駅西口地区】市街地総合再生基本計画、市街地再開発
 事業基本計画策定(図表6)

個別目標Ⅲ-3 地域の個性を生かした美しいまち
■施策の方向_区民参画による美しいまちづくり
 □施策_地域住民のまちづくりへの参画の促進
 ○地区計画策定6地区

(2)社会環境の変化、国・都の動向等
 (「行政基礎資料」P13～25参照)

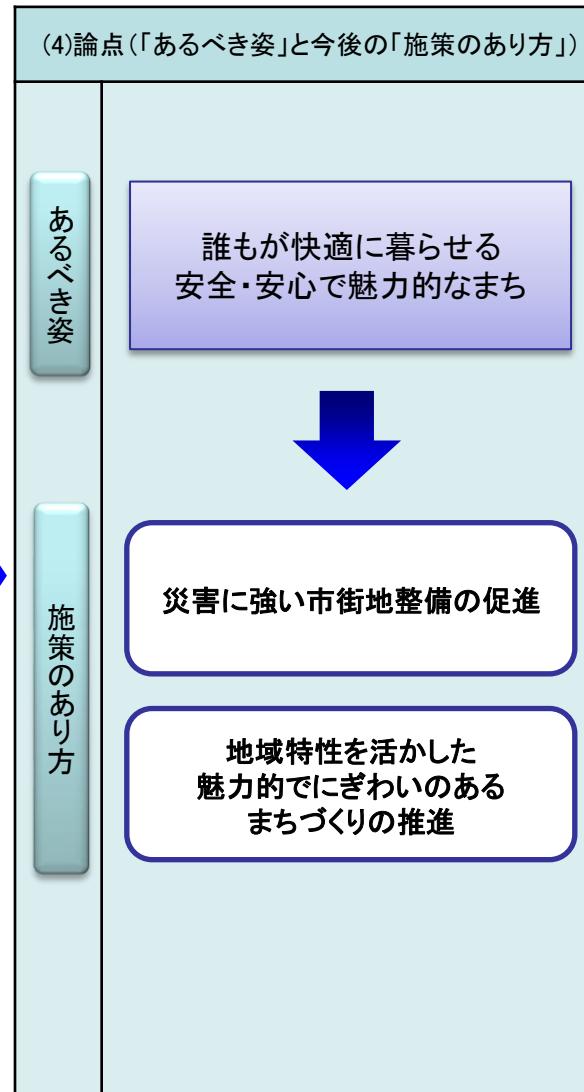
【区】
 ○用途別土地利用状況では、宅地の増加が見られる。
 (図表1)
 ○「板橋区耐震改修促進計画」に基づき、木造住宅の耐震診断・耐震工事費用を助成している。耐震診断件数は、東日本大震災を契機に平成24年度にピークを迎え、徐々に震災前の水準に戻りつつある。一方で耐震診断を終えた案件が工事に移行しており、耐震補強工事件数は増加したが、平成25年度は減少傾向にある。(図表2)
 ○板橋区では、環状8号線板橋西地区などを不燃化促進区域に指定して建築費助成を行っており、建物不燃化率が改善されている。(図表3)
 ○木造密集地域については、平成26年度で事業完了する。
 ○板橋駅改良工事については、JR東日本の公表スケジュールによると、平成27年度以降順次着工の予定となっている。

【都】
 ○平成25年より実施している「木密地域不燃化10年プロジェクト」において、不燃化特区指定し、重点的・集中的に改善を図っている。板橋区では、大谷ロー丁目周辺地区・大山駅周辺西地区が指定されている。
 ○防災性の向上や地域の活性化などを目的として、補助26号線の整備事業を実施しており、現在、平成26年度末の事業認可取得に向け、測量作業を進めている。
 ○東武東上線の「大山駅付近」を連続立体交差事業の「事業候補区間」に位置付け、立体化に向けた調査・検討に着手すると表明した。

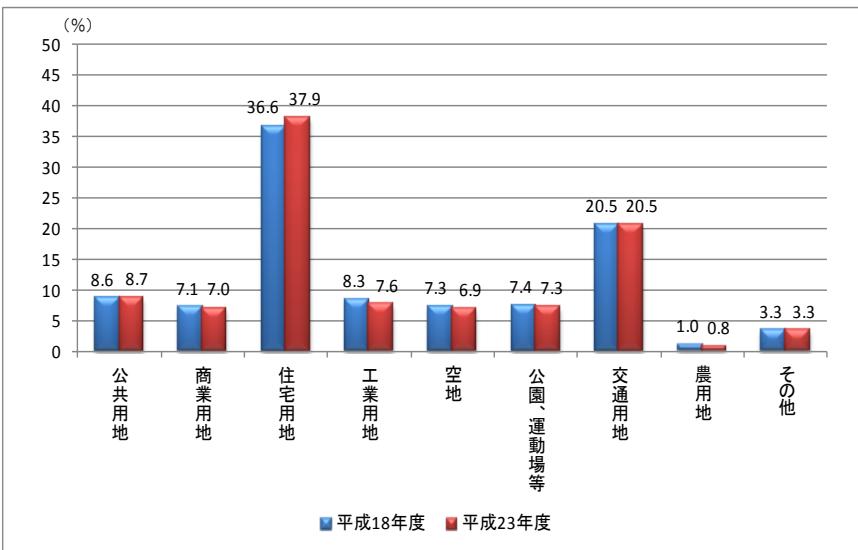
【国】
 ○近年の大規模地震における、天井等の非構造部材による被害状況に鑑み、平成25年9月に全国の学校設置者に天井等の総点検及び対策を要請した。

(3)区民の意識意向等

【区民意識意向調査】
 ○快適なまち
 ・相対満足度19.9%
 (全項目平均15.75%)
 ・改善度0.12
 (全項目平均0.04)
 ・重点的に力を入れるべき分野
 (第9位)22.2%

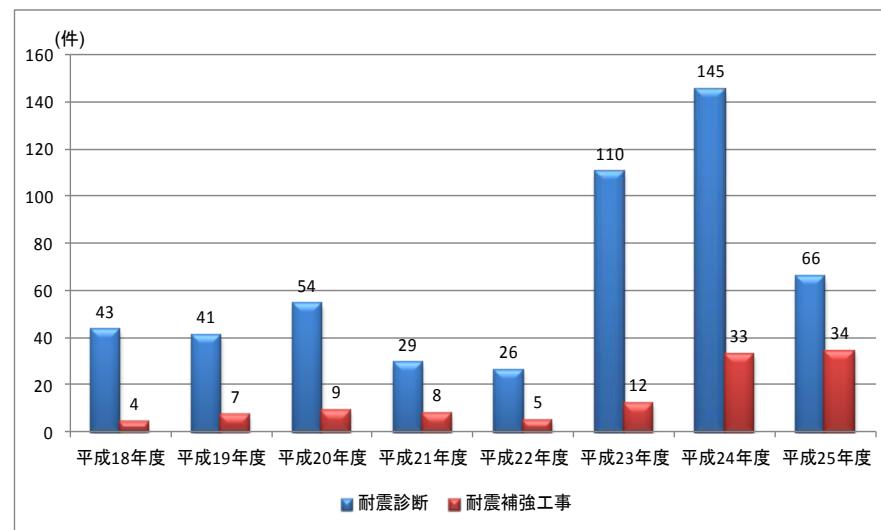


【図表1 板橋区の用途別土地利用状況の推移】



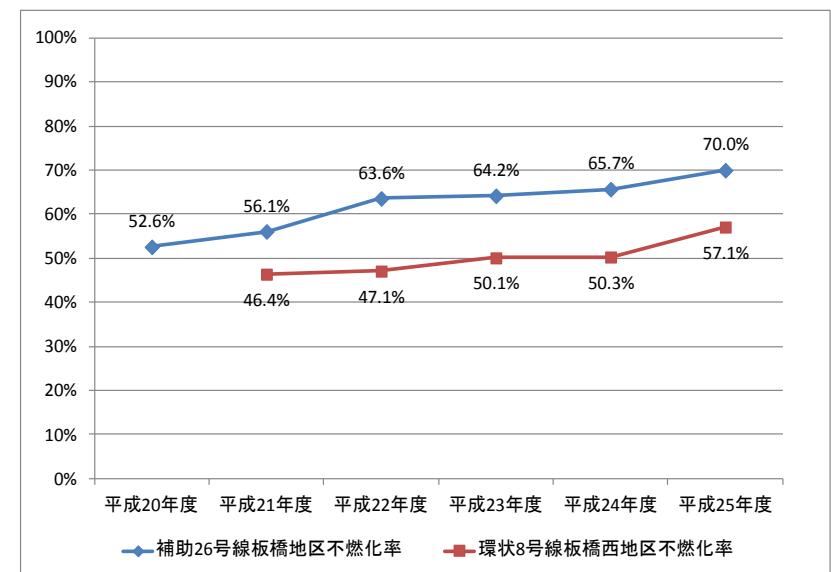
出所) 板橋区資料より作成

【図表2 板橋区の木造住宅の耐震診断・耐震補強工事助成件数】



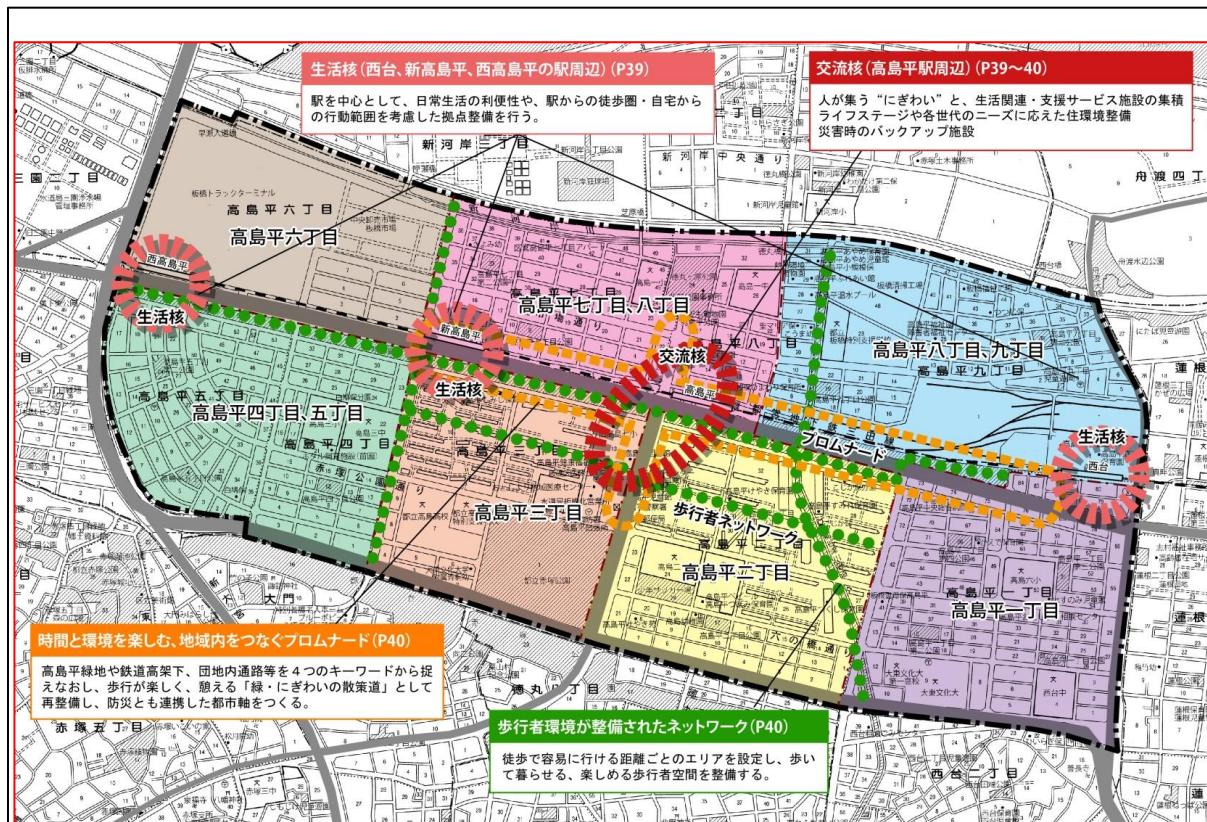
出所) 板橋区「事務実績調書」より作成

【図表3 板橋区の不燃化促進区域における建物不燃化率の推移】



出所) 板橋区資料より作成

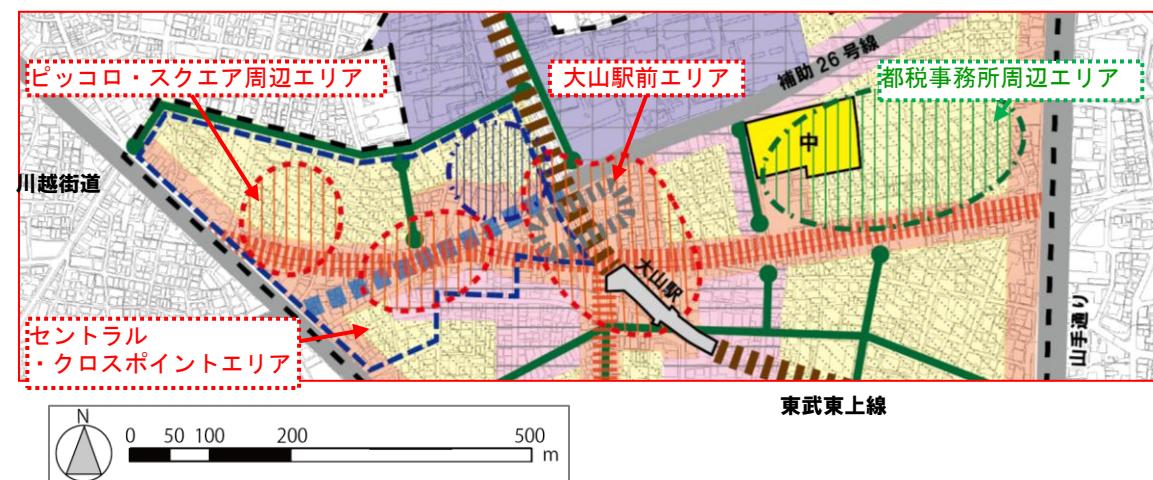
【図表4 高島平まちづくりイメージ】



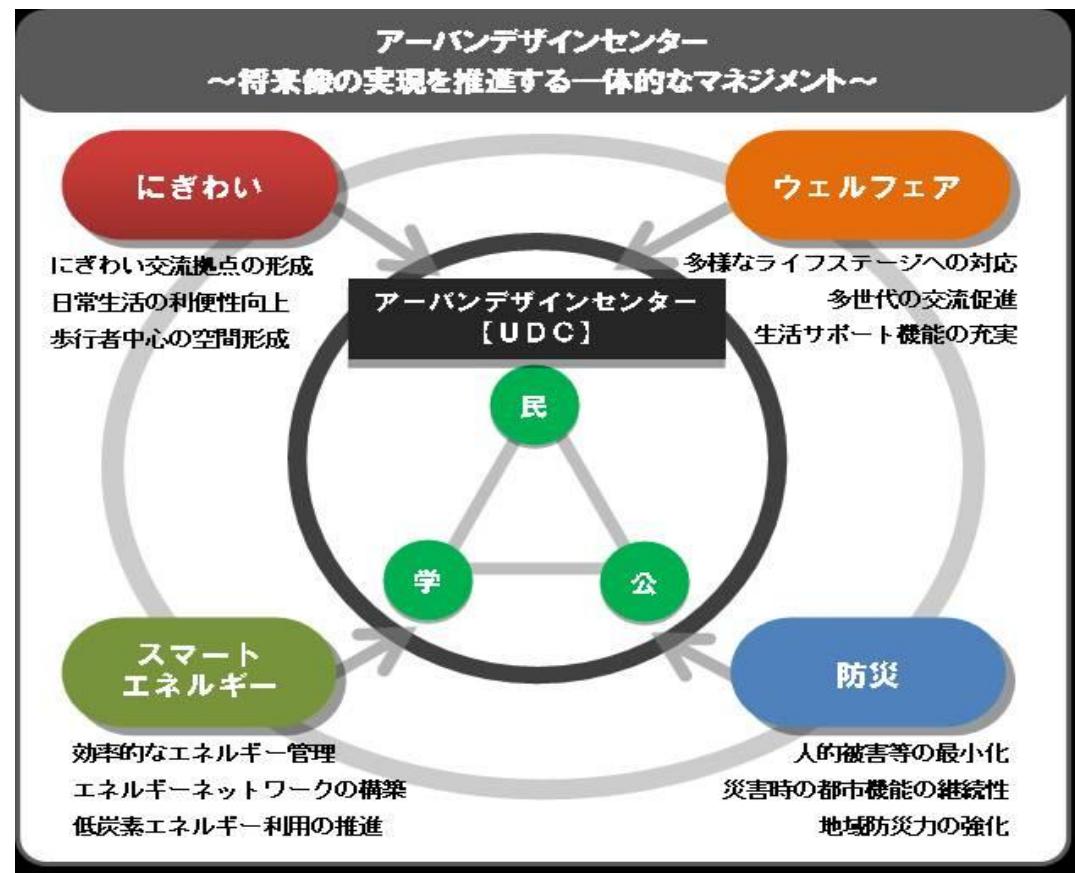
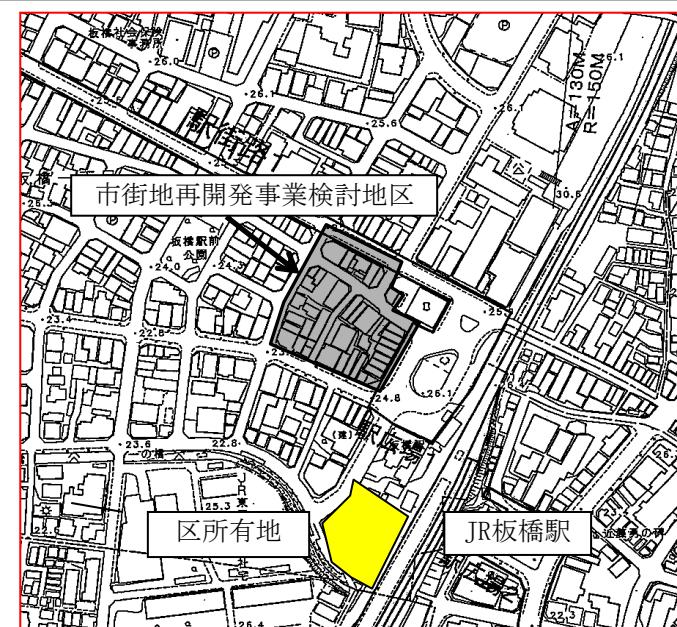
【図表5 大山まちづくりイメージ】



■まちづくり整備方針図 (部分再掲)

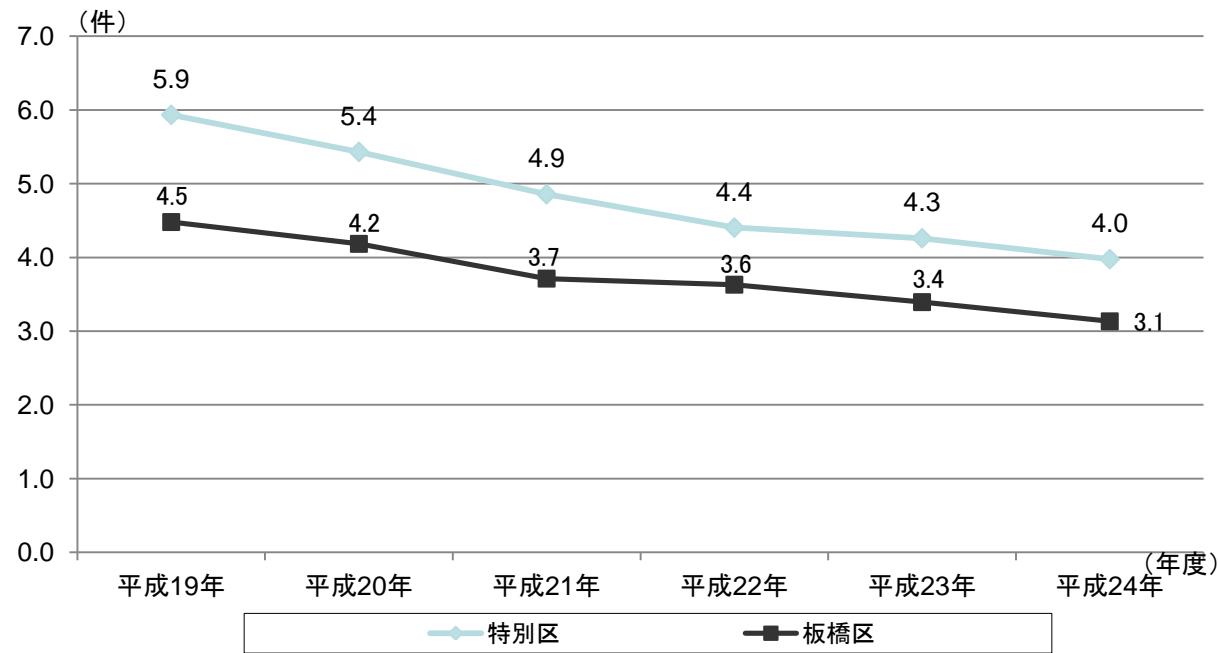


【図表6 板橋駅西口 市街地再開発事業検討地区図】



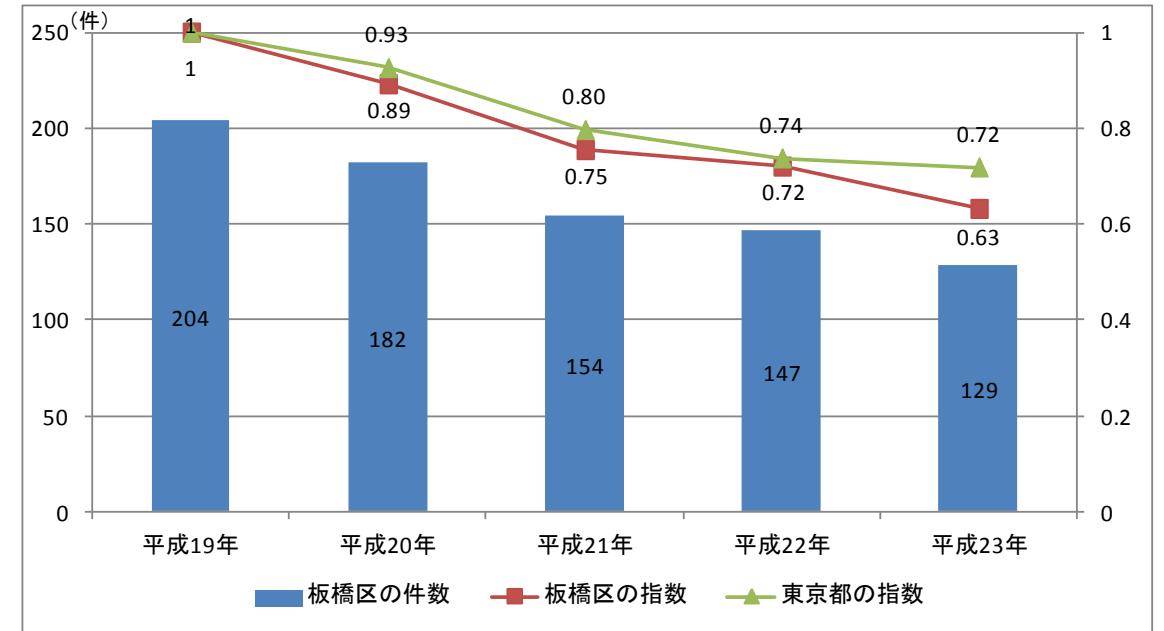
(1)現基本計画の施策の主要成果 （「板橋区基本計画の達成状況と課題」P23～24、31～32参照）	(2)社会環境の変化、国・都の動向等 （「行政基礎資料」P55～61参照）	(3)区民の意識意向等	(4)論点（「あるべき姿」と今後の「施策のあり方」）
<p>個別目標Ⅰー4 生涯を通じてこころ豊かに過ごせるまち ■施策の方向_良質な住まいの確保 <input type="checkbox"/> 施策_良質な住宅ストックの形成促進 　○区営住宅の大規模改修・・・改修2棟 　○住宅マスタープラン(第4次)を策定 　○居住支援協議会を設置 <input type="checkbox"/> 施策_住まいのバリアフリー化の推進 　○区営住宅の住戸のバリアフリー化・・・13戸 　○高齢者住宅の安否確認機能強化・・・更新8棟</p> <p>個別目標Ⅲー1 安全・安心活動に取り組むまち ■施策の方向_交通安全の推進 <input type="checkbox"/> 施策_交通マナーの向上 　○交通安全の啓発と推進 <input type="checkbox"/> 施策_放置自転車対策の推進 　○自転車駐車場の整備(20か所・4,064台増) 　○放置自転車の撤去</p> <p>個別目標Ⅲー5 暮らしに便利な道路・交通網があるまち ■施策の方向_道路・交通体系の整備 <input type="checkbox"/> 施策_公共交通網の拡充 　○東武東上線立体化促進 　○エイトライナー構想の実現 　○コミュニティバスの運行 　　(下赤塚駅～新高島平駅循環) <input type="checkbox"/> 施策_都市計画道路の整備促進 　○補助87号線 　○補助173号線 　○補助249号線</p> <p>■施策の方向_歩行者の安全の確保 <input type="checkbox"/> 施策_生活道路の改修・整備 　○細街路の拡幅(1,275件・55.1km) 　○区道の補修(整備 654,986㎡) 　○橋りょう長寿命化修繕計画の推進 <input type="checkbox"/> 施策_自転車道の整備 　○自転車道の整備(997.5m)</p> <p>■施策の方向_バリアフリー化の推進 <input type="checkbox"/> 施策_交通バリアフリー化の推進 　○歩道の段差解消(771か所) <input type="checkbox"/> 施策_公共施設のバリアフリー化の推進 　○学校施設のバリアフリー化(17校)</p>	<p>【交通安全】 ○人身の関わる交通事故発生件数は、全国的にも都全体としても減少してきており、板橋区においても「板橋区交通安全計画」の下、確実に削減が図られている。(図表1、2、3) ○板橋区では、先進的な取り組みとして、小学生に交通ルールへの興味を持たせるための自転車運転免許証の交付事業や、中学生に事故の悲惨さを体験させるためのスケアードストレート方式の安全教育を導入してきており、現在では、効果的な交通安全教育として全国に普及している。(図表4) ○放置自転車対策として、自転車駐車場の収容能力が近年増加し、放置自転車台数は着実に減少している。(図表5)</p> <p>【国】平成24年に文部科学省が発表した「いじめ、学校安全等に関する総合的な取組方針」において、学校安全の推進の一環として、地域が一体となった通学路の安全対策、総合的な安全教育のための方策検討等が示された。</p> <p>【道路】 ○歩道の段差解消が進んでいる(図表6) ○歩行者にとっても安全な自転車道整備が進んでいる(図表7)</p> <p>【公共交通】 【都】東武東上線の「大山駅付近」を連続立体交差事業の「事業候補区間」に位置付け、立体化に向けた調査・検討に着手すると表明した。</p> <p>【住宅・バリアフリー】 ○居住支援協議会では、住宅確保要配慮者(低額所得者、被災者、高齢者、障がい者、子供を育成する家庭その他住宅の確保に特に配慮を要する者)の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進を図るため、地方公共団体や関係業者、居住支援団体等が連携し、住宅確保要配慮者及び民間賃貸住宅の賃貸人の双方に対し、住宅情報の提供等の支援を実施している。 ○高齢者等のための設備のある住宅は増加している(図表8) ○住宅総数に占める空き家率は漸増している(図表9) ○板橋区における交通バリアフリー法に基づくエレベータ設置駅の割合は着実に増加している(図表10)</p> <p>【国】ユニバーサルデザインの考えに基づき、今後の社会資本整備、交通分野における取組方針として平成17年に「ユニバーサルデザイン政策大綱」を公表。これを受け、平成18年6月にバリアフリー新法を制定し、バリアフリー施策を推進。 【都】「建築物バリアフリー条例」「福祉のまちづくり条例」等により、バリアフリーの施設整備を進めるとともに、平成26年9月に「福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル」(第4版)を作成し、更なる整備基準の推進を図っている。</p>	<p>【区民意識意向調査】 ○自転車利用のマナー 　・相対満足度△39.5% 　　(全項目平均15.75%) 　・改善度0.21 　　(全項目平均0.04) ○快適なまち 　・相対満足度19.9% 　・改善度0.12 ○公共交通 　・相対満足度65.9% 　・改善度0.03 ○道路の安全 　・満足度は近年増加傾向 　　(図表11) 　・相対満足度30.9% 　・改善度0.16 ○歩行者の安全 　・満足度は近年増加傾向 　　(図表11) 　・相対満足度26.3% 　・改善度0.17 ○バリアフリー 　・満足度は低水準で推移 　　(図表11) 　・相対満足度△7.0% 　・改善度0.06</p>	<p>あるべき姿</p> <p>誰もが安全かつ、快適に移動できる交通環境があるまち</p> <p>安心・安全で良質な住まい・住環境のあるまち</p> <p>↓</p> <p>放置自転車対策の推進</p> <p>多様で良質な住まい・住環境の確保</p> <p>歩行者の安全の確保</p> <p>住まいのバリアフリー化の促進</p> <p>交通の利便性の向上</p> <p>住宅確保要配慮者への支援</p> <p>ユニバーサルデザインのまちづくりの推進</p> <p>施策のあり方</p>

【図表1 板橋区における人口千人当たりの交通事故発生件数の推移】



出所) 板橋区資料より作成

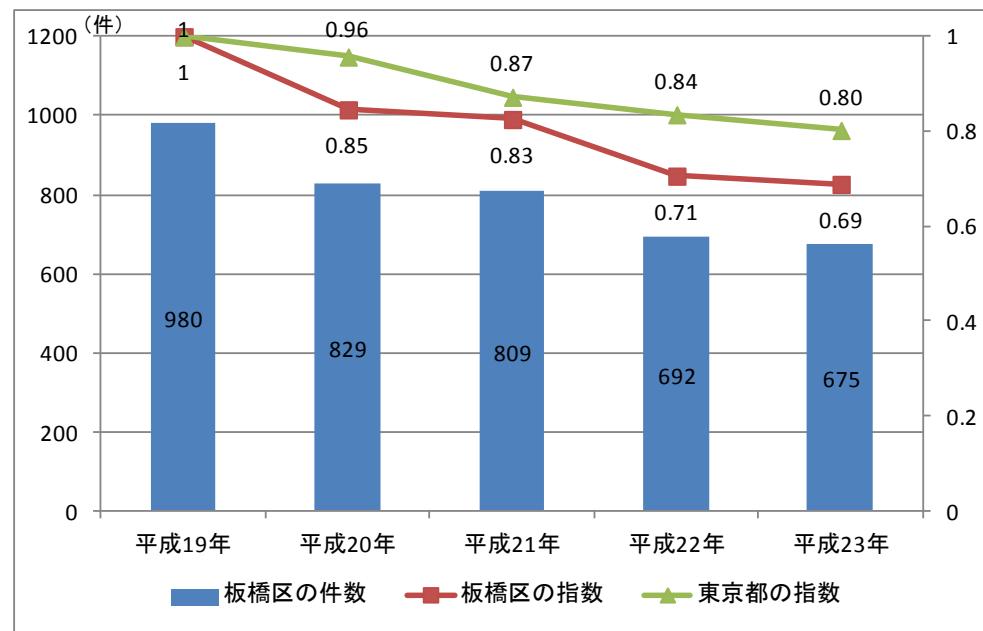
【図表2 板橋区における子どもの交通事故発生件数の推移】



注) 指数値は、平成19年度を「1」としたもの

出所) 板橋区資料より作成

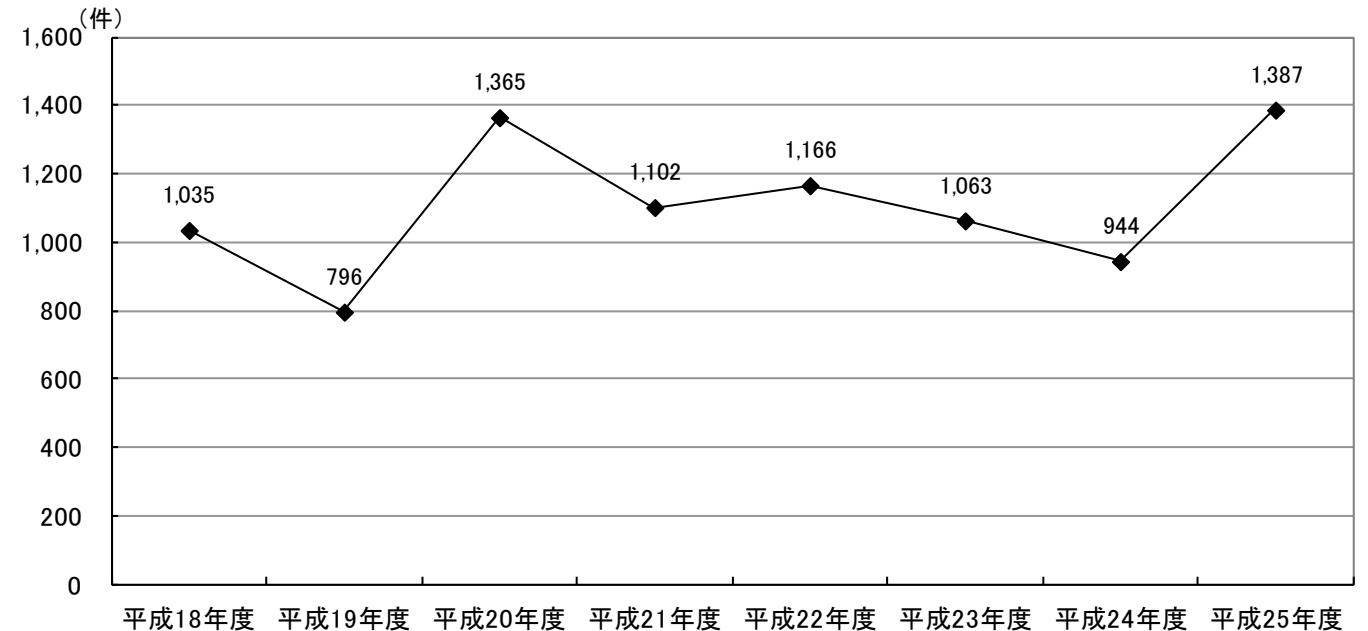
【図表3 板橋区における自転車に関する交通事故発生件数の推移】



注) 指数値は、平成19年度を「1」としたもの

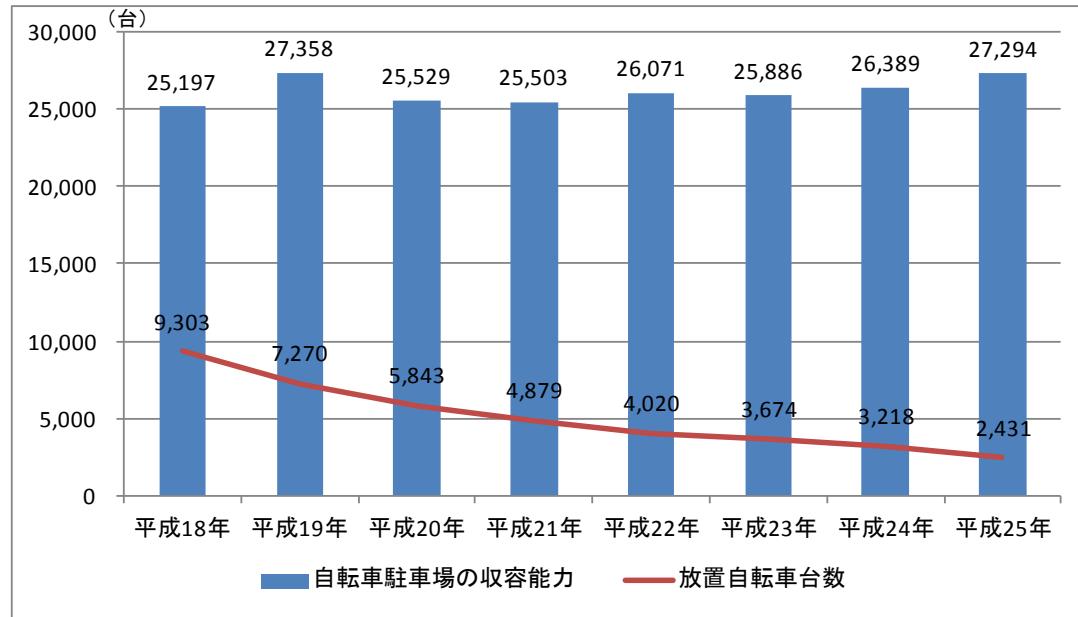
出所) 板橋区資料より作成

【図表4 板橋区における小学生への自転車運転免許交付件数の推移】



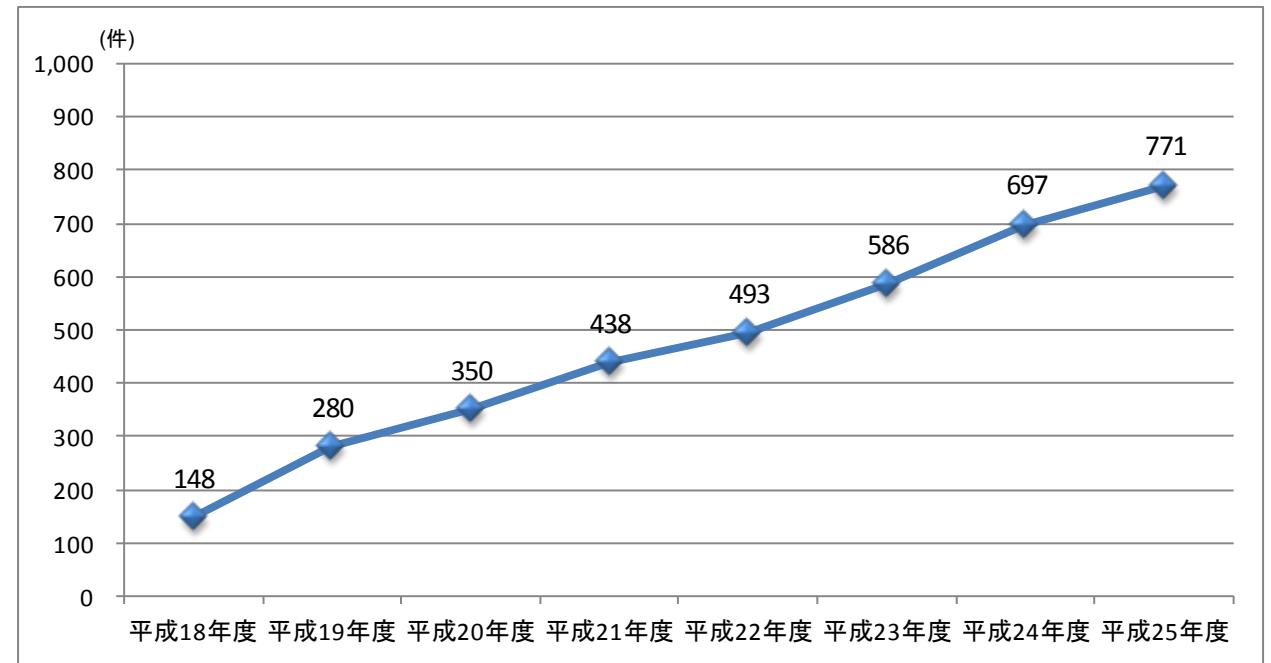
出所) 板橋区資料より作成

【図表5 板橋区における自転車駐車場の収容能力と放置自転車台数の推移】



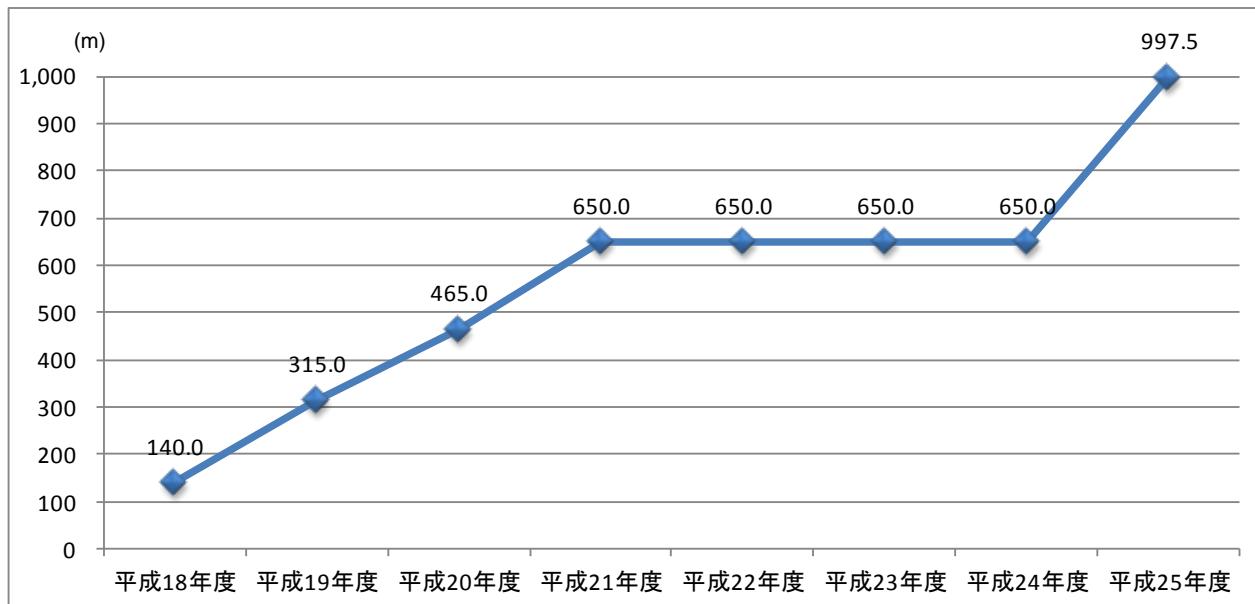
出所) 板橋区資料より作成

【図表6 板橋区の歩道段差解消件数の推移】



出所) 板橋区資料より作成

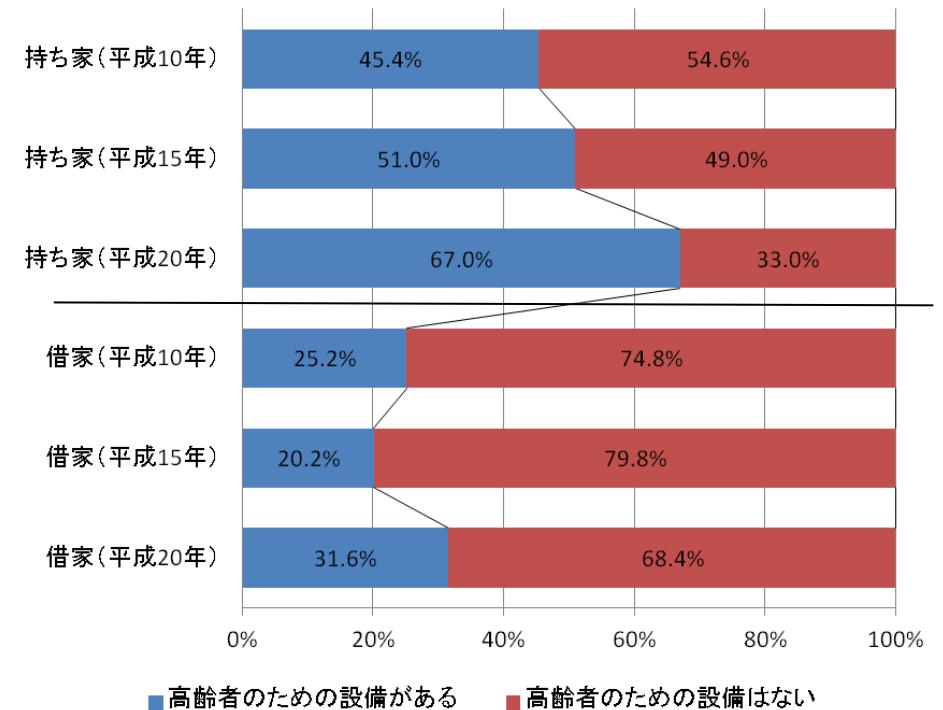
【図表7 板橋区の自転車道整備量の推移】



注) 平成22年度～24年度については、平成25年度整備区間の測量・設計を実施したため、整備量なしとなっている。

出所) 板橋区資料より作成

【図表8 板橋区における高齢者等のための設備がある住宅の割合の推移】

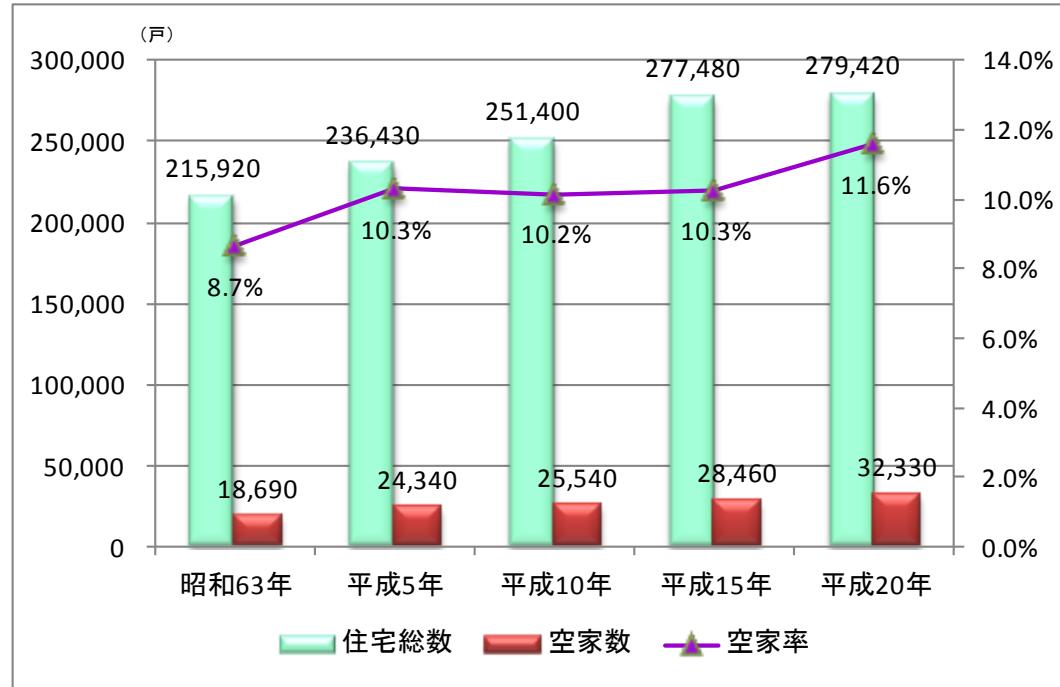


注1) 専用住宅（居住の目的だけに建てられた住宅）における割合

注2) 高齢者等のための設備：手すり、またぎやすい高さの浴槽、段差のない屋内など

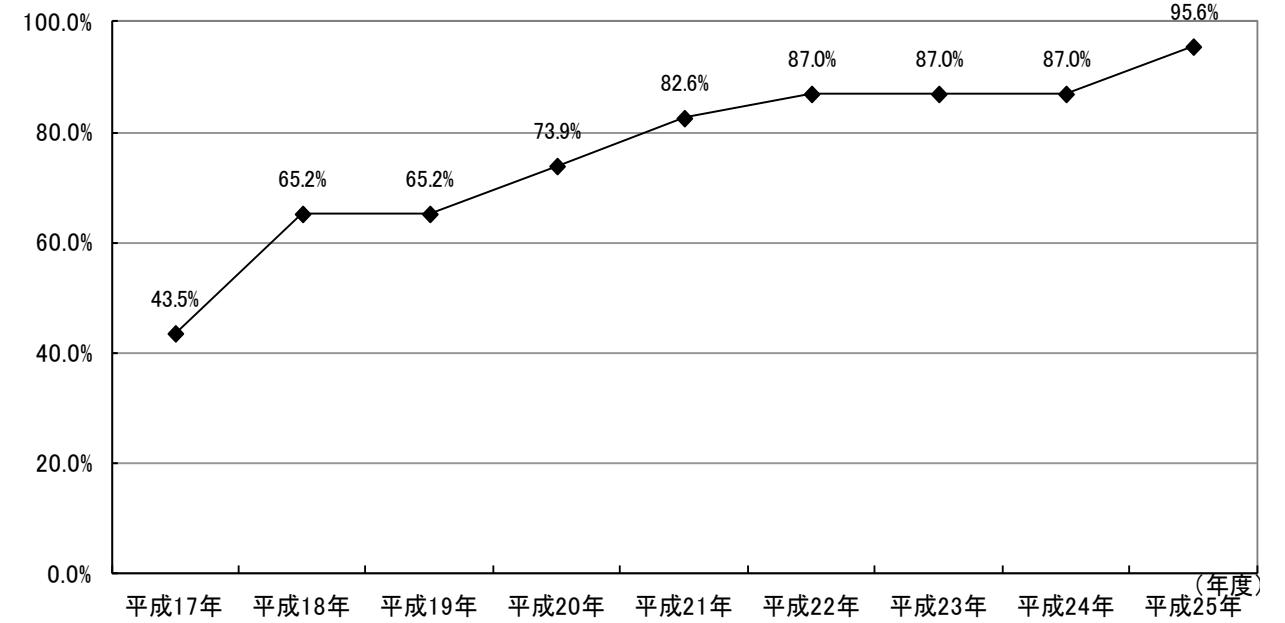
出所) 総務省「住宅・土地統計調査」（平成20年）

【図表9 板橋区の空家率の推移】



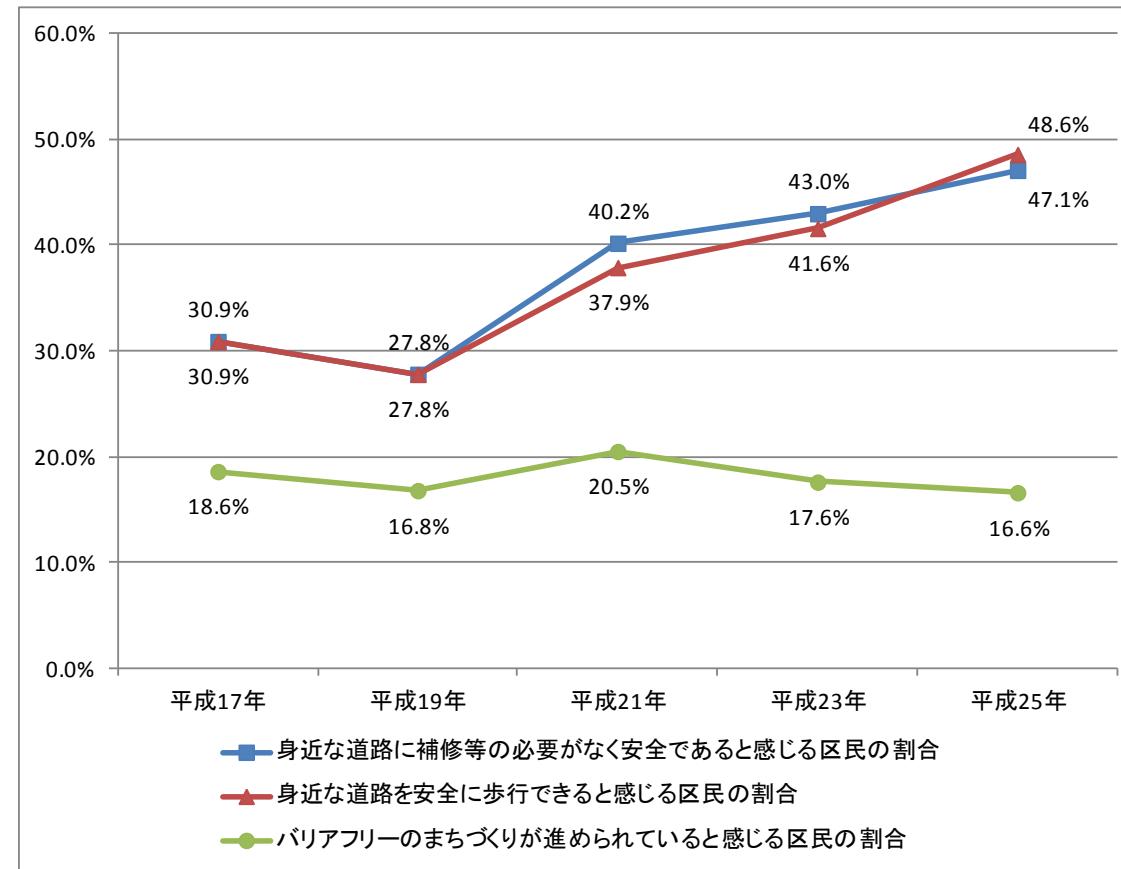
出所) 総務省「住宅・土地統計調査」(平成20年)より作成

【図表10 板橋区における交通バリアフリー法に基づくエレベータ設置駅の割合】



出所) 板橋区資料より作成

【図表11 交通安全・道路・バリアフリー分野に関する区民意識意向の推移】



出所) 板橋区「区民意識意向調査」より作成